



小網代通信

発行：小網代ヨットクラブ
〒238-0225
神奈川県三浦市三崎町小網代
1385-18
編集：広報委員会
編集長：里吉美恵子
連絡先：office@koaziroyc.jp

Koaziro Yacht Club

2025年10月号 VOL-328

2025.10.10 発行

今月の内容

ページ

連絡事項	(編集委員)	1
ソフトシャックルについての話	(テディス4 児玉 萬平)	2~3
ロッカー修繕(増設)&「交換したいコーナー」	(編集子)	4

今後のイベント予定

10月 KFR	: 10月19日(日) 新Hコース (スタート予告信号 10:25 タイムリミット 15:00)
10月 総務委員会	: 10月20日(月) 19:00~ハイブリッド(品川でリアル会議とZoom会議)で実施
10月 ハーバー整備	: 10月25日(土)~26日(日) 第1回目
10月 KYC クルージング	: 10月25日(土)~26日(日) 千葉 保田(日帰り&1泊コース)ランチ懇親会
11月 小網代カップレース	: 11月1日(土)~2日(日) 伊豆大島周り
11月 ハーバー整備	: 11月1日(土)~3日(月・祝) 第2回目

連絡事項

1. ハーバー整備 漁協との共同作業につき日程決定 (既に案内されていますので、皆様のご協力をお願いいたします)
 第1回目 10月25日(土)~26日(日) 作業予定: 1~2列目
 25日(1列目) 26日(2列目) を予定しています。
 第2回目 11月1日(土)~3日(月・祝) 作業予定: 第1回の作業進捗によります。
 ※対象船の方は、自艇にて2名程度の待機をお願いいたします。
 ※天候や作業状況により予定通りに進まないこともありますのでご承知ください。
2. 2025 KYC 秋のクルージングイベント開催のご案内 (日帰りならびに停泊可能)
 日程: 10月25日(土)~26日(日) 場所: 千葉県 保田漁港
 申込締切: 10月10日(金)までに 申込先: kyc_crusingml@googlegroups.com
3. 第63回小網代カップレース 開催日程: 2025年11月1日(土)~2日(日)
 小網代ヨットクラブはホストクラブです。クラブハウス2階サロンは、両日ともレース本部となります。
 レーススタート時の観覧やレースの応援は、レース艇の進路を避けてお楽しみください。
4. イベントカレンダー (ミニクリスマスパーティ 日程追記しました)
 12月6日(土) 13時より 2階サロンにてミニクリスマスパーティを開催いたします。
 11月に参加申込のご案内をいたしますので、どうぞご参加ください。

ソフトシャックルについての話

テイス4 児玉 萬平

2014年の沖縄-東海レースにダブルハンドクラスで出場して以来、我々テイス（First40.7）の帆装は年々変化してきました。最初にコード0、次にジェネカー、ハウスプリット、ジブトップ、最近はフライングジェノアの導入…など、ショートハンドで、よりハンドリングしやすい帆装は何か…を追い求めてきた結果です。一方、こうした変遷に合わせて細かい部分の帆装も変わってきた。その一つがソフトシャックルの使用で、ここではその**ソフトシャックル（Soft Shackle）**について書いてみたいと思います。

ソフトシャックルとは、主に **Dyneema®（ダイニーマ）** や **Spectra®** などの高強度超高分子量ポリエチレン繊維で作られた「ロープ製シャックル」で、従来のステンレス製シャックル（ハードシャックル）の代替として、ブロック、シート、ハリヤードなどの接続部に使われます。



ソフトシャックル基本形

鋼鉄の15倍もの強度を持つダイニーマなどが開発されたおかげで普及し始めたソフトシャックルですが、私が最初にソフトシャックル様のものを見たのは、私の学生時代1968年太平洋シングルハンドレースに、伝説のヨット乗りエリック・タバルリーが乗つて油壺にフィニッシュしたオールアルミ製のレース艇Pen Duick-Vを見た時でした。ジブシートなどがシートシャックル（当時の呼び方）になつていて、なんだこれ？と驚いたことを覚えています。主に長距離航海の耐久性を求めるものと思いますが、ステンレスシャックルとの電蝕を考慮したものだったかもしれません。Pen Duick-V とは2017年ファストネットレースに参加した折、仏ロアンのエリック・タバルリー記念館前に動態展示（毎週ボランティアが動かしている）されている同艇に再会しました。



Pen Duick-V

ソフトシャックルの利点は、1.軽量、2.安全（ぶつかってもケガをしない）、3.強い、錆びない、4.フレキシブル（取り付けが自由）などですが、テイスの場合はやっぱり安全を重視しています。2014年の沖縄-東海レースの際、ダブルハンドクラスの僚艇Roshanaのジブシートに使われていたステンレスシャックルがシバーしてクローの頭部を打撃して負傷、ドッグハウスの前面に当たって大きな損傷を与えことも教訓になりました。またソフトシャックルが何より良いのは絶対外れることです。どんな高価なシャックルでも激しいシバーに外れることがあります。特に荒天時の夜間にそれが起きると收拾がつかなくなります。同年の神子元島レースでは強風のスピランの最中、ターニングブロックが壊れ、シャックルが曲がって外れなくなりました、ソフトシャックルならいざというときナイフで切断できます。



壊れたブロック、シャックルはチェインカッターで切断

一方、ソフトシャックルの欠点は1. 摩耗・カットに弱い（繊維製ゆえにエッジやシャープな金属面に擦れると破断の恐れがある）ことで、テイスでは保護用の外皮をかけています。他には2. 紫外線劣化、3.摩擦に弱い、4.ダイニーマの価格が高いなどがありますが、特に我々DIY派にとって問題なのは5.施工不良です。使用する場所によって要求される破断荷重度が異なりますので、Harkenなどのメーカー製ソフトシャックルのデータを参考に材質やロープの径を選ぶことはできますが、施工に慣れないと、思いがけない時に外れたりすることがあります。一般的なソフトシャックルの施工法は下記のサイトで見ることができます。



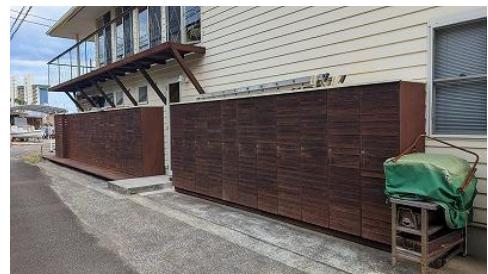
変種のシャックル

- Animated Knots による基本ソフトシャックル解説図（図付き解説） [animatedknots.com](http://www.animatedknots.com/softshackles.html)
- YouTube による「How to splice Dyneema soft shackle」などの手順動画 [YouTube+1](https://www.youtube.com/watch?v=1234567890)

我々の場合、加工しやすい方法を独自に考えてみたりしていますが…まだこれで決まり、という方法は見つかっていません。試行錯誤してみるのも楽しみの一つですよね。

ロッカー修繕（増設）

クラブハウス建設以来のロッカーの修繕と2個の増設を9月に行いました。さて、修繕箇所は見た目わかりませんが、そこがプロのお仕事だそうです。あるロッカーの扉を開けますと、写真（下 左側）のように扉の下部分の金属の留め金が新しいものに付け替えられていましたので、きっちりと扉が閉まります。増設部分は少し離れたところに出来上りました。真新しい外観は、新築のにおい、扉の中はこんな感じでした。写真（下 右側）



「交換したいコーナー」あげたい、ほしい！！

クラブハウス1階の掲示板に「交換したいコーナー」あげたい、ほしい！！のスペースを設けました。

写真やメモを記載して貼付してください。

ホームページの会員専用ページの掲示板でも同様ご利用ください。

